

社会科 臨時休業中の課題

○課題内容：教科書などを参考に、プリントを完成させること。

* 解答はプリントに書き込むか、それが無理な場合は自分のノートに書き込むこと。

* 「地図に着色する」「地図に斜線を引く」といった問題はやらなくても良い。

○提出日：臨時休業明け最初の社会科の授業。

○注意点：この課題は臨時休業明けの授業をスムーズに行うためのものです。今後の授業のことを考えながら取り組んでください。

年 組 番 氏名： _____

17 世界商業の展開 / 科学革命と啓蒙思想

1 オランダとイギリス

(1) オランダの繁栄

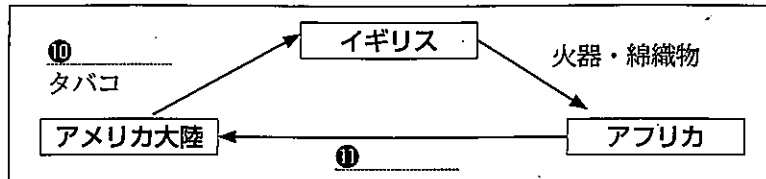
- 17世紀前半、中継貿易や① _____ 工業、造船業により繁栄
→② _____ 海貿易支配…東ヨーロッパから穀物や木材を購入
→③ _____ を設立してアジア貿易に乗りだし、④ _____ にとってかわる
- 工業・商業で優位獲得→金融面でも支配的地位を確立

(2) イギリスの台頭

- ⑤ _____ 法制定(1651)→オランダとの3次にわたる戦争→北米の植民地をうばってオランダの優位をくずす
- ⑥ _____ の戦い(1757)…フランスとベンガル太守の連合軍を撃破→インド支配の基礎を確立
- フレンチ=インディアン戦争(1755~63)…フランスを撃破
→⑦ _____ 条約(1763)…カナダとミシシッピ川以东の⑧ _____ を獲得→植民地帝国建設、世界商業で圧倒的な力をもつ

2 17~18世紀の世界貿易

- イギリス…大西洋をまたいだ⑨ _____ 貿易→産業革命の基盤つくる



*北米南部からカリブ海地域の植民地でヨーロッパ市場向けの商品作物を生産する⑫ _____ (大農園)が発達
→労働力確保のため、17~18世紀に①貿易が拡大

3 貿易と新しい生活文化、科学革命

(1) 貿易と新しい生活文化

- 世界商業の展開→綿織物・茶・砂糖などが流入→新しい生活文化の誕生
→⑬ _____ やカフェの誕生、保険・茶商など新しい産業

(2) 科学革命

- 世界各地の情報が流入→科学や思想に大きな変化→科学革命へ
⑭ _____ の力学→近代科学の基礎構築
顕微鏡の発明→生物学・医学が飛躍的に進歩
イギリス王立協会やフランス科学アカデミーの創設

ここがポイント

17世紀にはオランダが世界商業で圧倒的の優位に立つが、しだいにイギリスが勢力を強めていったことを理解しよう。

キーワード

中継貿易 他国から輸入した商品をそのまま、または加工して別の他国に輸出する貿易。

ここがポイント

大西洋貿易でイギリスが利益を得たくみを理解しよう。

ここがポイント

世界商業がヨーロッパ社会にどのような影響をあたえたかを理解しよう。

4 啓蒙思想の広まり

- ⑮ _____ 法…人間の理性で社会のあるべき不変の秩序を見つめる
→⑯ _____ 説…17~18世紀のヨーロッパで生まれた、社会は自由で平等な個人の契約からなるという考え⇨王権神授説
代表的思想家…⑰ _____ (イギリス)、ルソー(フランス)
- 啓蒙思想…18世紀のフランスで生まれた、迷信・無知・不公正を批判し合理的なあり方をめざすという考え
⑱ _____ :三権分立を提唱、主著『法の精神』
ルソー:人間の自由・平等や人民主権を主張、主著『社会契約論』
- ⑲ _____ (フランス)や⑳ _____ (イギリス)による重商主義政策の批判→経済活動の自由を主張
- 『㉑ _____』の刊行→新しい知識や思想の普及

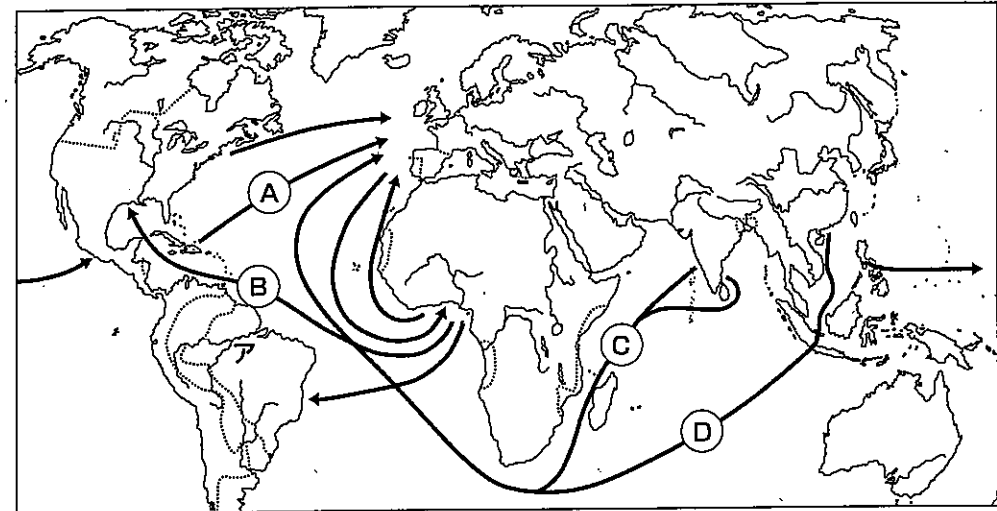
ここがポイント

17~18世紀のヨーロッパで生まれた思想について理解しよう。

キーワード

啓蒙思想 「啓」は「啓く」、「蒙」は「くらひ」という意味。旧来の慣習や思想を批判し、人間生活の進歩・改善をはかるうとする考え。フランス革命に影響をあたえた。

チャレンジしよう



- イギリス領を着色しよう。
- A~Dに当てはまる交易品を答えよう。

A(_____ ・銀) B(_____)
C(_____ ・綿織物) D(_____ ・生糸)

- Aの地域を植民地にしていた国を答えよう。(_____)

- イギリスがオランダの中継貿易を排除するために制定した法……………(_____)
- 1757年にイギリスがフランスとベンガル太守の連合軍を破った戦い……………(_____)
- 万有引力の法則を見いだし、近代科学の基礎を築いた科学者……………(_____)

18 農業社会から工業社会へ—産業革命— 労働運動と社会主義のはじまり

1 イギリス産業革命の背景

- ・大西洋を囲む植民地帝国形成→ロンドン・グラスゴーなどの商業都市と貿易商人の誕生→資本の蓄積
 - ・新しい農法と①による農業生産の向上=②革命
 - ・③によるコークス製鉄法の開発→鉄生産における木炭から石炭への転換
- ⇒18世紀後半のイギリスは、世界ではじめて農業社会から④社会へ変化、社会構造や人々の生活も大きく変化=産業革命

2 産業革命の展開

(1) 綿工業の技術革新

- ・⑤の綿工業の技術革新…産業革命のはじまり

→多くの技術革新=⑥…飛び杼

ハーグリーヴズ…ジェニー紡績機

アークライト…水力紡績機

クランプトン…⑦紡績機

⑧…力織機

→イギリス産綿製品は海外市場へ大量に輸出される

(2) 動力革命・交通革命

- ・ワット…⑨を改良→工場の動力源が蒸気力に
- ・スティーヴンソン…⑩を実用化→鉄道時代はじまる
- ・アメリカ人の⑪…蒸気船を実用化

⇒鉄道建設や蒸気船建造→鉄工業・機械工業の発展=産業革命の広がり

3 資本主義経済の確立と労働運動

(1) 産業革命後の変化

- ・⑫都市の成立(マンチェスター、バーミンガムなど)
- ・二つの社会階級の誕生：賃金労働者と⑬

⇒資本主義経済の確立→工場制機械工業による大量生産→労働問題の発生

(2) 労働運動

- ・労働者たちは団結して労働条件の改善を求める
- ・失業した職人たちによる⑭運動=機械の打ちこわし

→対策：⑮法制定=女性の労働時間の制限、児童労働の禁止

海外の植民地へ⑯を送りだし、国内の社会問題を解決

→19世紀なかば以降、労働運動はおだやかになる

ここがポイント

イギリスで産業革命がおこった背景について理解しよう。

ここがポイント

イギリスの海外植民地が、原料の供給地だけでなく、工業製品の輸出先となったことを理解しよう。

カートライト

(1743~1823)

オクスフォード大学出身の聖職者。あいつく紡績機の発明による糸の過剰生産を解消するため力織機を発明した。400台の機械を設置する工場の建設に着手したが、暴徒の焼くうちにあい、破産した。

ここがポイント

資本主義の発展と同時に多くの社会問題が生まれ、その矛盾のなかから社会主義思想が生まれたことを理解しよう。

Keyword

工場制機械工業 工場に労働者を集め、機械を使用して生産すること。産業革命による技術革新で機械を用いた大量生産が可能となり、確立した。

4 社会主義思想

(1) 初期の社会主義思想(「空想的社会主義」)

- ・⑰(イギリス)：助け合いの精神による工場経営

- ・サン=シモン、⑱(フランス)：生産協同組合の設立主張

(2) 「科学的社会主義」

- ・マルクスと⑲：『⑳』出版(1848)

：社会が発展する法則を解明し、労働者の国際的団結を提唱

- ㉑(国際労働者協会)結成(1864)

マルクス、『㉒』出版→マルクス主義が影響力をもつ

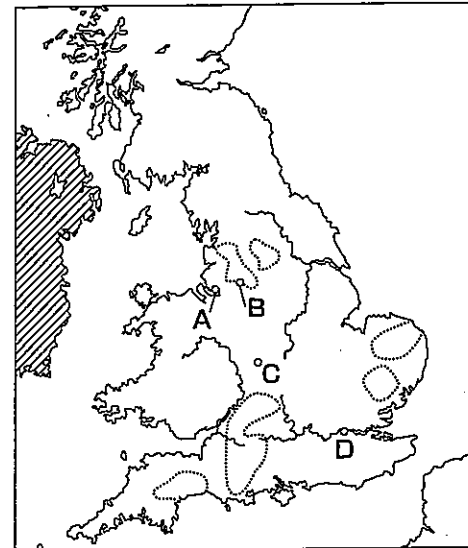
ここがポイント

資本主義の発展のなかで、労働者を救済し、理想社会をめざす社会主義が生まれたことを理解しよう。

Keyword

「空想的社会主義」 社会主義社会は歴史や社会構造の科学的分析によってのみ実現できると考えたマルクスらが、オーウェンらの思想を自らと区別するために使用した言葉。

チャレンジしよう



(1)綿織物業地域を着色しよう。

(2)地図中の斜線で示された地域名を答えよう。

()

(3)次の各都市の位置を地図中のA~Dより選び、記号で答えよう。

ア.マンチェスター(綿工業が発展。ランカシャー最大の工業都市)

イ.バーミンガム(鉄鋼山や炭田に近く、製鉄業・機械工業がさかん)

ウ.リヴァプール(奴隷貿易で発展。マンチェスターの外港となる)

ア() イ() ウ()

ワット(1736~1819)

大学の機械職人だったワット

ワット君、このニューコメンの蒸気機関の模型を修理してくれないか?

なるほど、こうなっているのか

でももっと良い方法があるはずだが…

うーん、何か良い方法が…

こうしてやかんからワットの蒸気機関が誕生した

蒸気エンジンのしくみ

①産業革命がはじまった工業分野……………()

②1825年に蒸気機関車を実用化し、鉄道時代をきりひらいた人物……………()

③『資本論』を出版し、ヨーロッパの労働運動に影響をあたえた人物……………()

㉓ 1825年にスティーヴンソンが実用化した蒸気機関車(ロコモーション号)の平均時速は?

①15km ②25km ③35km 37

19 アメリカ独立革命

1 独立前の13植民地

- 17世紀以降、北米大陸にイギリスの13植民地建設
 - ① _____ が自治をおこなう。住民が武装して自衛
 - 北部：自営農業、商業、造船業など
 - 南部：② _____ 制プランテーションでヨーロッパ向けのタバコなどを生産
- 18世紀なかばまでに生活のイギリス化がすすむ

2 本国イギリスとの対立

- イギリス…③ _____ 戦争の戦債による財政難
 - 13植民地に対してさまざまな課税
 - 植民地人の強い反発、イギリス製品の不買運動
- イギリスが、④ _____ に茶の独占販売権をあたえる
 - ⑤ _____ 法を制定
 - 反対した市民が⑥ _____ 事件をおこす
 - イギリスによる植民地へのさらなる弾圧
 - 各植民地の代表は⑦ _____ に集まり、第1回⑧ _____ を開催(1774)

3 独立戦争

- 独立戦争の開始
 - 1775年4月、イギリス本国と植民地の武力衝突
 - 植民地は⑨ _____ を総司令官として独立戦争開始
- 戦争の経過
 - 当初、植民地軍は苦戦
 - トマス=ペインが『⑩ _____』出版…イギリス国王を批判
 - ⑪ _____ らが独立宣言起草
 - 植民地軍兵士の士気が高まる
 - ⑫ _____ の外交活動…フランスの支援を獲得
 - しだいに植民地軍優勢
 - ⑬ _____ の戦い(1781)…植民地側が決定的勝利
 - ⑭ _____ 条約締結(1783)
 - =イギリスが13植民地の独立を承認

ここがポイント

北米13植民地では、南部と北部で経済活動が異なっていたことを把握しよう。

ここがポイント

アメリカの独立が、英仏植民地戦争後のイギリス本国の課税強化に対する反発からはじまったことを理解しよう。

ここがポイント

アメリカ独立宣言は、すべての人間の平等をうたったが、アフリカ系奴隷や先住民は除外されるなど、限界もあったことをおさえよう。

トマス=ペイン (1737~1809)
イギリスの印刷職人で、1774年に渡米。「コモン=センス」では、「イギリス本国からの独立は当然の常識」とうたった。アメリカ独立後、フランス革命に共鳴して渡仏するが、ナポレオン統治下のフランスに失望し、アメリカにもどった。

4 合衆国憲法の制定

- 1787年、憲法制定会議が⑯ _____ を制定
 - アメリカ：広い自治権をもった州が集う連邦国家となる
 - _____ で権力の集中をさける
- 1789年、連邦政府発足
 - 初代大統領：⑰ _____

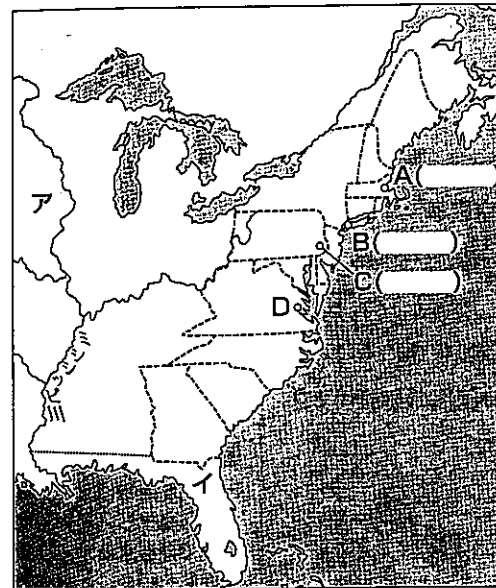
ここがポイント

合衆国憲法の特徴を理解しよう。

Keyword

連邦制 複数の国家または政治単位(州など)が1つの連邦政府によって統治される国家体制。

チャレンジしよう



- 1776年に独立した13州を着色しよう。
- A~Cに当てはまる都市名を下から選び、()に記号を記入しよう。
 - a.ボストン
 - b.フィラデルフィア
 - c.ニューヨーク

(3)植民地側の勝利を決定づけた戦いがおこなわれたDの都市名を答えよう。()

(4)ア・イの地域の名称を答えよう。()

- ア()
- イ()

フランクリン (1706~90)
万能人間フランクリン

海かでも有名なのは、雷から発明した避雷針

そのおかげで外交もうまくいき

数百ポルトの威力…(?)

アメリカ独立の立て役者となった

- ①茶法に反発した植民地の人々が1773年におこした事件…()
- ②独立戦争の総司令官となり、初代アメリカ大統領となった人物…()
- ③トマス=ペインが著し、独立の気運を高めることとなった出版物…()
- ④独立宣言を起草し、第3代大統領となった人物…()
- ⑤イギリスが13植民地の独立を承認した1783年の条約…()

⑱ イギリス国王の名前に由来していない州名は? ①ジョージア ②ヴァージニア ③ペンシルヴァニア 39

20 フランス革命/イギリスに挑戦したナポレオン

1 国民議会の結成と憲法の制定

(1) 国民議会の結成

・絶対王政下のフランス

第一身分(聖職者)・第二身分(貴族)…①身分として課税免除

第三身分(平民)…人口の98%を占める

・七年戦争後の財政難→国王ルイ16世は①身分への課税計画

→②の招集(1789)…①身分と第三身分の対立

→第三身分が国民議会結成、憲法制定まで解散しないことを決定

=③の誓い

(2) 憲法の制定

・国王による国民議会弾圧の動き

→1789.7 パリ民衆が④の要塞襲撃=革命勃発

→1789.10 ⑤行進…国王一家をパリに連行

・国民議会、⑥を国王に承認させる

→1791年、憲法制定…一部の財産所有者のみに政治参加を認める

憲法制定直前に国王はオーストリアへ逃亡はかる→国民の信頼失う

2 革命戦争の展開と恐怖政治

(1) 革命戦争と国王の処刑

・1791年の憲法にもとづく選挙後、⑦招集

→1792.4 オーストリアに宣戦→民衆は各地で⑧軍を結成

→1792.8 王宮を制圧、王権停止

・男性普通選挙により⑨成立→⑩

派台頭→王政を廃止、共和政の開始を宣言=⑪政

・1793.1 ルイ16世を処刑

(2) 恐怖政治

・革命の波及をおそれた諸国が⑫結成→戦争拡大

・⑬派の独裁：⑭らが中心

→恐怖政治を実施し、反対派を処刑→⑮の逮捕・処刑→恐怖政治終わる

3 ナポレオンの登場

・革命戦争で功績をあげたナポレオンが人気を得る

→1799年、クーデタで⑯を樹立→第一統領に就任

→所有権や経済活動の自由を保障した⑰

を制定、諸改革を実施

ここがポイント

フランス革命が、国王に対する貴族の反抗からはじまり、都市の民衆や農民の革命へと拡大していくことを理解しよう。

ルイ16世

(1754~93)

ルイ15世の孫。狩猟と読書を好み、錠前師の親方のもとで細工仕事をするのを趣味の一つとしていたという。内向的で優柔不断な性格から強力な指導力を発揮することができず、オーストリアへの逃亡事件で国民の信頼を失った。

ここがポイント

国際的な危機のなかで革命は急進化し、恐怖政治にまで発展するが、社会の混乱を招き、反対勢力により独裁が終了したことを理解しよう。

キーワード

共和政(制) 君主をおかない政治体制。社会が政治権力の保持者を直接・間接に選ぶ。現在のイタリア・フランスなど。

ここがポイント

国内の対立により不安定であった政府に対し、軍事的成功をおさめたナポレオンに国内の人気が集まったことを理解しよう。

4 ナポレオンのヨーロッパ大陸支配と没落

・ナポレオン、国民投票で皇帝に就任(1804)=⑱政

・⑲の海戦(1805)…イギリスに敗北

・⑳の戦い(1805)…オーストリア・

ロシア軍に勝利→ヨーロッパ大陸のほぼ全域を征服

・ライン同盟結成(1806)=神聖ローマ帝国の消滅

・㉑令発布(1806)…大陸諸国とイギリス間の通商禁止

→大陸諸国の経済に打撃→ナポレオンへの反発

・スペイン反乱で鎮圧失敗、㉒遠征に敗北→ライプツィヒの

戦い(1813)で敗北→ナポレオン退位、㉓島へ配流

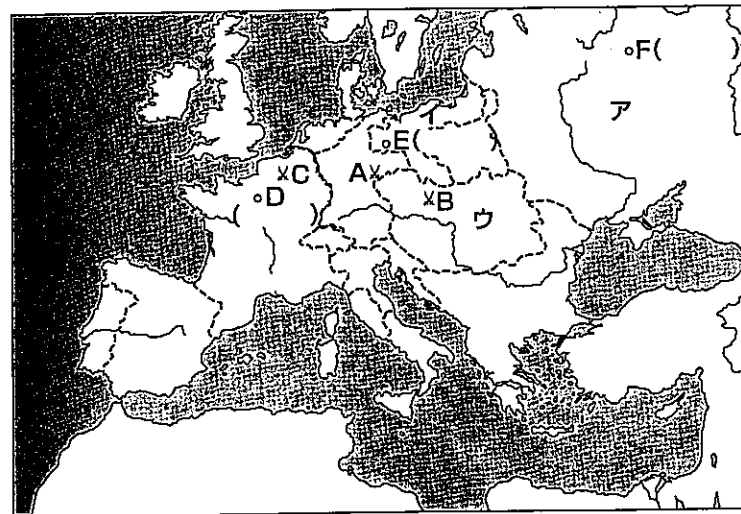
・ウィーン会議中にナポレオンが㉔島脱出、皇帝に復位→㉕

の戦い(1815)で敗北、㉖島へ配流

ここがポイント

ナポレオンはヨーロッパ大陸のほぼ全域を支配下におさめるが、国民意識にめざめた諸国民が抵抗し、ナポレオンが敗れたことを理解しよう。

チャレンジしよう



(1)フランス帝国領とナポレオンに服属した諸国をそれぞれ着色しよう。

(2)A~Cに当てはまる戦場名を答えよう。

- A()
- B()
- C()

(3)1812年にナポレオンが遠征した国をア~ウから選ぼう。()

(4)D~Fに当てはまる都市名を下から選び、()に記号を記入しよう。

- a. ベルリン
- b. モスクワ
- c. パリ



- ①国民議会弾圧に対し、1789年7月にパリの民衆が襲撃した要塞……………()
- ②恐怖政治をおこなったジャコバン派の中心人物……………()
- ③1793年1月に処刑されたフランス国王……………()
- ④ナポレオン没落の原因となり、失敗に終わった1812年の遠征……………()
- ⑤ナポレオンが最終的に敗北した1815年の戦い……………()

② ス ナポレオンの名言「フランス語にはOOという言葉はない」。OOに入るのは?

21 大西洋をはさんだ革命／ウィーン体制

1 ラテンアメリカの独立

- ・フランス革命と①戦争→ラテンアメリカの変革
- ・フランス領サン=ドマング…②
らの指導で③軍と交戦→④として独立(1804)
- ・スペイン領植民地…⑤(植民地生まれの白人)
の指導で独立戦争→サン=マルティンや⑥
の活躍で勝利→1825年までに大半の地域が独立
- ・ポルトガル領⑦…1822年に独立

2 アメリカ合衆国とラテンアメリカ

(1) アメリカ合衆国の動き

- ・①戦争中のイギリスの海上封鎖…アメリカとフランスの通商を妨害
→②戦争(1812~14)→工業製品の
輸入がとだえ、アメリカ北部で綿工業が発展
- ・③がラテンアメリカの独立運動に干渉
→自国産業の市場としたいイギリスは干渉に反対
- ・④大統領、アメリカ大陸とヨーロッパの相互不干渉を
主張(1823)=⑤主義、西半球を勢力圏と考える膨張主義→外交の伝統に

(2) 独立後のラテンアメリカ諸国

- ・⑥ら富裕層が権力掌握→社会構造は植民地時代と変わらず
地下資源や農作物の⑦に依存、イギリス
資本に従属

3 ウィーン体制

- ・1814年、⑧外相⑨の主導でウィーン会議開催
基本理念：フランスの⑩が提唱した⑪主義
=ヨーロッパをフランス革命以前の体制にもどすべき
結果：フランスで⑫朝が復活
国境の変更…北イタリアはオーストリア、ポーランドは⑬
、南ネーデルラントはオランダに組み入れられる
ドイツでは⑭が成立
- ・⑮同盟締結…キリスト教的友愛の精神を盟約
- ・⑯同盟締結…共同で各国内の革命運動や独立運動をおさえる
→19世紀前半のヨーロッパ国際秩序=ウィーン体制

ここがポイント

フランス革命は各地に影響をあたえ、ラテンアメリカでは独立運動が展開されたことを理解しよう。

ここがポイント

モンロー主義に象徴される孤立主義が、アメリカ外交の伝統になったことを理解しよう。

ここがポイント

ウィーン会議では、ヨーロッパをフランス革命以前の状態にもどそうとする勢力が優勢だったことを理解しよう。

4 七月革命とヨーロッパ

(1) ナショナリズムの台頭

- ・国民意識のめばえ→⑰をつくらうとする動き
- ・国王や特権階層の専制支配に対し、政治参加や自由な経済活動を求める
⑱主義の運動がおこる

(2) 七月革命

- ・統一国家をもたない民族→⑲主義(ナショナリズム)の運動展開
- ・⑳独立戦争…ヨーロッパから多くの義勇軍→独立達成
- ・シャルル10世の専制政治→1830年7月、パリ民衆が蜂起→㉑朝滅亡、㉒
を国王とする立憲王政成立=七月王政
- ・七月革命がヨーロッパ各地に飛び火→ウィーン体制をゆり動かす
→㉓が独立、イタリアやポーランドで民衆蜂起

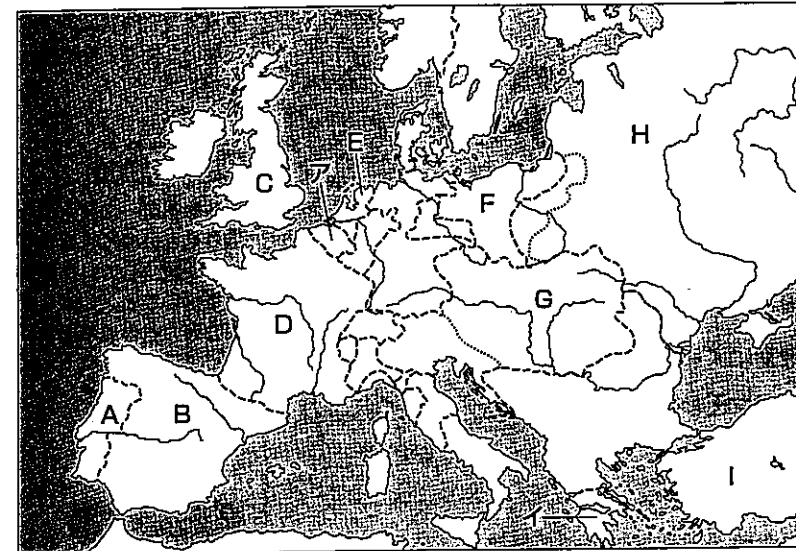
ここがポイント

自由主義やナショナリズムの運動の展開で、ウィーン体制がゆらいだことを理解しよう。

バイロン

(1788~1824)
イギリスの詩人。多くの女性と恋愛を重ねた。ギリシア独立戦争に義勇兵として参加し、その最中に熱病で死去した。

チャレンジしよう



- (1)オーストリア帝国とロシア帝国をそれぞれ着色しよう。
- (2)ウィーン会議で決定したオーストリア帝国の獲得地とロシア帝国の獲得地に斜線を引こう。
- (3)A~Iのうち、五国同盟に参加した国の記号を囲もう。

(4)ともに1830年前後に独立を達成したア・イの国名を答えよう。

ア() イ()

- ①トゥサン=ルヴェルチュールらを指導者としてナポレオン軍と戦い、1804年に独立を達成した国()
- ②アメリカ大陸とヨーロッパの相互不干渉を唱えたアメリカ大統領()
- ③ウィーン会議を主導したオーストリア外相()
- ④1829年にオスマン帝国からの独立を達成した国()
- ⑤1830年の七月革命でフランス国王に即位した人物()

② スグリム童話にふくまれるものは?

- ①人魚姫 ②白雪姫 ③マッチ売りの少女